

守屋多々志作　桃太郎

大垣市議会だより

発行：大垣市議会　編集：市議会だより編集委員会　TEL：0584-47-8073

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

<インターネットURL>
大垣市議会　検索

第3回市議会定例会
令和8年度一般会計補正予算などを可決
可決された主な議案

第3回市議会定例会を9月7日から28日までの日程で、開催しました。

初日に、人権擁護委員候補者の推薦についてを先議した後、市長から令和8年度一般会計補正予算など9議案について提案説明を受けました。

14日には、12名の議員が、防災・教育・福祉・交通等に関して市政全般にわたる一般質問を行い（2～3面に掲載）、16日から25日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

28日の最終日には、各委員長が審査結果の報告を行い、市長提出議案9議案を可決・認定し、請願2件を不採択としました。

また、議員提出議案として、「ドナーミルクの利用拡大を求める意見書」を可決し、閉会しました。

定例会日程

9月7日	本会議（提案説明）
14日	本会議（一般質問）
16日	決算委員会 （一般会計・特別会計）
17日	決算委員会 （公営企業会計(水道)） （公営企業会計(病院)）
18日	建設産業委員会
24日	教育福祉委員会
25日	総務環境委員会
28日	議会運営委員会 本会議

補正予算
【一般会計】

◇高齢者おでかけバス助成事業について、令和8年度から、より利用しやすい助成方法に変更したところ、想定を上回る申請があったため、2960万円を計上。

◇地域密着型介護サービス施設整備事業について、国や県の補助単価の改正に伴い、補助金1710万円を計上。

◇スイトピアセンター学習館北棟東の外壁改修について、建築資材の高騰のため2790万円を計上するとともに、令和9年度の債務負担行為限度額4260万円を増額。

◇学校給食について、県の補助金を活用し、県産農産物を使用した特色ある給食メニューを提供するため、学校給食費会計に対し、対象の食材費940万円を負担。

◇かみいしづ緑の村公園、奥養老の管理委託について、指定管理者の令和9年度から3年間の再指定に伴い、債務負担行為限度額を緑の村公園1億400万円、奥養老で5600万円を設定。

条例等

◇大垣市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
地方自治法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

◇財産の取得について
高規格救急自動車1台を更新するため購入するもの。

決算認定

◇令和7年度大垣市一般会計及び特別会計決算並びに公営企業会計決算の認定
2日間にわたり決算委員会を開会し、各委員会の所管ごとに質疑を行い、慎重に審査した結果、認定しました。

意見書（文面は4面に掲載）

◇ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

第97回都市対抗野球大会
歓喜あふれる優勝パレード



8月26日から9月6日にかけて行われた第97回都市対抗野球大会において、大垣市代表として戦った西濃運輸野球部が12年ぶり2回目の優勝を果たしました。10月11日、駅通りで開催された十万石まつりにおいて、選手並びに関係者の皆さんがパレードを行いました。

優勝チームに贈られる黒獅子旗が快晴の秋空にはためく中、沿道には多くの市民が集まり、選手の皆さんに温かな拍手と祝福の声を送りました。地元ゆかりのチームが長年の努力を実らせてつかんだ栄冠は、市民に大きな喜びと誇り、そして感動をもたらしました。会場は、選手たちの晴れやかな笑顔と、再び日本一に輝いたチームへの声援に包まれました。選手・関係者の皆さんの今後ますますの活躍が期待されます。



この議会だよりは、環境保全に配慮し、適切で持続可能な管理が行われている森林から産出された木質資源を原料にした紙を使用しています。

一般質問

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを各議員が市に対して質問しました。その内容の一部を紹介します。

2次元コードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

激甚化する災害に対する防災施策の強化について

田中　孝典

質問：激甚化する災害に対し、過去の災害現場からの学びや、気候変動に由来する災害の変化の予測が重要である。市の見解を伺う。

答弁：全国で地震や台風、線状降水帯の発生など自然災害が激甚化・頻発化しており、起こり得る身近な脅威に対し、さまざまな防災・減災対策を実施している。

昭和51年の豪雨をはじめとする過去の浸水被害や土砂災害の教訓を次代へ継承するため、排水路や排水機場の整備等のハード面、ワンコイン浸水センサの導入等のソフト面の両面から対策に取り組んでいる。

近年は予測困難な大雨により浸水被害が多発するリスクが増大しており、将来の気候変動の影響を踏まえ、排水基本計画を改定した。現在は内水ハザードマップの作成を進めるとともに、市ホームページに防災特設ページを開設し、想定される浸水リスクをいち早く伝えている。

今後も地域の安全・安心な暮らしを守るため、想定外を想定内にする防災対策に全力で取り組んでいく。

災害時における応援職員の受け入れ体制について

梅崎　げんいち

質問：災害時に応援を円滑に受けるための※受援計画の策定状況と受入れ体制の整備、全庁的な訓練を通じた計画の見直しについて伺う。

答弁：全国で大規模災害が頻発する中、被災自治体が単独で対応を完結することは困難であり、受援体制の整備は重要な課題である。

国は、平成30年に応急対策職員派遣制度を創設し、総括的に支援する総括支援チーム、避難所の運営など現場の人手を補う対口支援チームの二本柱で迅速な派遣の仕組みを整備している。市では、令和5年に災害時受援計画を策定し、罹災証明書の交付など9業務を対口支援チームの対象と定め、受入体制や資機材の整備に努めている。

また、実効性を高める上で、訓練と計画の検証が不可欠であり、より実践的な手法で行った災害対策本部運営訓練で明らかになった職員配置の在り方などの課題をもとに計画の見直しを図っていく。

岐阜朝鮮学園による3市への多重申請の返還後に残る問題点について

小田　環

質問：補助金の返還は実現したが、購入者も日付もない明細を認め、返還額も3市で最も甘い。利息請求、全額返還、加算金創設は。

答弁：岐阜朝鮮学園への補助金について、本市、岐阜市及び羽島市の3市から同一経費への重複交付が判明したため、令和元・5・6年度分の交付決定の一部取消及び返還請求を行い、請求額全額の返還を受けた。

令和6年度の補助金はご指摘の明細のみで判断したものではなく、決算書等による確認や3市合同の現地調査により適正な執行を確認しており、交付事務に誤りはなく、市に損害は生じていないため、職員への損害賠償請求権も生じない。

補助金の返還は不当利得分を対象とし、補助の確定日が早い市から充当し、超過分を対象とする基準を採用した。利息の請求は、弁護士など専門家の意見を踏まえ、悪意の認定に至らないと判断したため請求を行っていない。加算金制度を含め、不正行為の抑止の実効性を担保できる仕組みを検討している。

大垣駅南前地区市街地再開発事業について

中田　としや

質問：本事業の計画変更の経緯と事業効果への影響を問う。併せて、中心市街地活性化のこれまでの成果と課題を伺う。

答弁：大垣駅南前地区市街地再開発事業は、建設物価の高騰を踏まえ、採算性と実現性を高めるため、再開発組合で見直しが検討されてきた。より経済的な規模への変更とともに宿泊施設の新規導入が進められ、総事業費と補助金は約1割減額の見込みである。食料品スーパーの導入は確認している。8月に住民説明会を開催し、進捗状況は市ホームページを通じて周知に努めている。

計画変更に伴う影響については、宿泊施設の導入により年間約7万人の交流人口が見込まれ、マンション居住者と宿泊客による消費活動の活性化や雇用の創出により、地域経済の活性化が期待される。

中心市街地活性化について、にぎわいを創出するイベントや空き店舗対策の支援が一定の成果を上げており、関係機関と連携し、今後も回遊性の向上に取り組んでいく。

武道館東花ハス池の魅力発信と今後の取組について

安藤　よしひろ

質問：花ハス池と隣接する武道館の連携により、健康増進と文化の交流拠点として整備を図り、さらなる魅力を発信してはどうか。

答弁：平成24年度に整備した武道館東花ハス池は、約650株を植栽しており、多くの皆様の目を楽しませている。

毎年7月に開催のハナハスまつりは、SNSを通じた情報発信により来場者が3年間で2倍以上に増加した。開花時期には武道館で多くの大会が開催されており、来訪者に周知を図っている。今後も分かりやすい誘導方法やSNSによる発信促進のためフォトフレームの導入を検討する。

また、開花時期の異なる品種の導入や解説板の設置、休憩スペースの確保など環境整備についても検討する。今後も適切な維持管理により、世代を超えて愛される地域交流の拠点となるよう取り組んでいく。



武道館東花ハス池で開催されるまつりの様子

小さな命をつなぐ母乳バンクについて

宮脇　ちえ

質問：大垣市民病院においてドナーミルクの導入を検討してはどうか。また、妊産婦や市民に対し、母乳バンクの周知啓発を要望する。

答弁：母乳バンクとは、母乳を十分に与えられない母親に代わり、ドナーとなる母親から善意で寄せられた母乳を民間団体が低温殺菌等により安全に処理し、ドナーミルクとして体重1500g未満の低出生体重児へ提供するものである。現在は法的基準が定められておらず、民間団体の自主的な基準やガイドラインに頼らざるを得ない状況であり、安全性への心理的不安などの課題がある。

市民病院での導入は国の動向などを注視するとともに、医療現場のニーズや必要な整備の調査を行い、赤ちゃんが健やかに成長できる環境づくりに努めていく。妊産婦や市民に対する周知啓発については、関係部局と連携し進めていく。

日本財団母乳バンク
THE NIPPON FOUNDATION HUMAN MILK BANK

マンガで分かる母乳バンクはこちらから

※受援計画・・・大規模な災害が発生した際、外部からの応援や支援（人員・物資など）を円滑に受け入れるための手順や体制を定めた計画。

スマホ・SNSと共に生きる子どもたちのヴェルビーイング※について

長谷川　つよし

質問：国内外で子どものスマホ・SNS利用を見直す動きがあるが、本市も利用の指針や市民共通の目安を設ける考えがあるか伺う。

答弁：近年のデジタル化の急速な進展は、子ども達の生活や人間関係に大きな影響があると考えている。SNS等の利用についてさまざまな指針やルールが議論され、関わり方を見直す動きが広がっている。スマホ等の使用頻度、生活に与える影響等について県教育委員会が毎年調査を実施しており、明確な相関関係は把握できていないが、一定の影響はあると認識している。

　現在、各学校での情報モラルの授業のほか、長期休業前の三者面談の機会に使用時間や使用方法を確認するなど、適切な関わり方を指導している。市全体の指針や目安の提示については、今後検討していく。

　子ども自身がスマホ等の利用と日常生活のバランスを両立し、自ら幸福を感じる生活を育むことが重要であるため、学校や家庭、地域ぐるみで道徳性を育み高められるよう、道徳教育の充実に力を入れていく。

地域公共交通計画の今後について

はんざわ　多美

質問：交通未整備地域を対象に実施した調査の結果を踏まえ、今後の方針を伺う。また、中心市街地周辺の巡回バスの導入を提案する。

答弁：市は誰もが安心して利用できる地域交通ネットワークを構築するため、地域公共交通計画を策定し、地域特性や需給バランスなどを総合的に勘案しながら交通空白地域の解消に向けた取り組みを進めている。

　令和6・7年度に11地区で実施したアンケート調査結果により、既存のバス路線の対応が難しい地域では、AI技術を活用したデマンド交通の実証運行や新たな地域内循環バス路線の導入に向け検討している。

　中心市街地の移動の利便性向上に向けて他市町の事例を検討する中、巡回バスに限定せず、ライドシェアやシェアサイクル、福祉バスなど多様な移動手段の組み合わせについて引き続き調査研究を進め、誰もが安心して移動できる環境づくりを進めていく。



福祉避難所について

本田　ゆみこ

質問：福祉避難所の整備状況と避難の方法を伺う。最重度の障がい者は福祉避難所に直接避難することが望ましいが、市の見解を問う。

答弁：災害時に高齢者や障がい者など要配慮者を受け入れる福祉避難所の必要性は、ますます高まっている。8月末現在では34施設・408人分の受け入れが可能であり、施設に応じた整備をいただいているほか、市も停電時の電源確保など環境づくりに努めている。

　福祉避難所の開設は、施設の安全性や運営体制の確認が必要なため、一般の避難所への避難の後、専門の職員の聞き取りを経て福祉避難所へ移動していただくことを基本としている。医療的ケアが必要な最重度の方は、一般の避難所を経由することが大きな負担となる場合があるため、個々の状態に応じ柔軟な対応が必要であると認識している。

　8月に実施した実践的な訓練の検証により、平時から関係機関との連携を深め、災害時に要配慮者が安心して避難できる体制づくりに取り組んでいく。

市民プールの安全確保について

種田　昌克

質問：老朽化が進む市民プールは、施設の安全性や監視体制に課題がある。今後の修繕方針や将来の在り方について、市の見解を伺う。

答弁：市民プールは、流水プールやウォータースライダーを有し、レジャー施設のみならず水泳競技施設としても多くの方にご利用をいただいている。

　老朽化の状況を把握するため、専門業者による年次点検や法定点検を実施しているほか、指定管理者による日常・特別点検を継続的に実施し、点検結果を踏まえた評価により計画的な維持管理に努めている。

　安全管理体制については、救命講習の終了を監視員の採用条件とし、不審者や危険行為の対応、事故発生時の初動対応等を明記した統一マニュアルの整備と周知徹底に努め、監視体制の実効性を高めている。

　供用開始から37年が経過し、コンクリートや設備機器等が更新時期を迎えるため、長寿命化も含めた中長期的な視点により安全な施設運営と適切な維持管理に努めていく。

井戸水利用者による下水道利用について

粥川　加奈子

質問：井戸水を利用し、下水道料金を負担していない店舗等がある。実態を調査し、徴収区分の不均衡の解消と適切な徴収を要望する。

答弁：一つの井戸を複数で使用する共同ビルなどにおいて、使用者の変更に伴い、届出がないまま下水道を使用する事例が見受けられる。無届使用の解消は、公平性の確保や下水道事業の健全な運営上、極めて重要である。このため、店舗等への訪問や水道検針員の情報活用により実態調査を毎年実施しており、令和7年度は121件の手続を完了した。今後も建物所有者等への周知徹底を図り、無届使用の未然防止と早期解消に取り組んでいく。

　営業形態に応じた使用料区分のさらなる細分化は、使用水量の認定の複雑化など課題があるため、最も公平な方法である井戸水メーターの設置を推奨している。

　引き続き、適正な認定基準の在り方について調査研究を進め、受益者負担の原則に基づき、公平・公正な運営に努めていく。

生活道路における交通安全対策について

小原　一喜

質問：生活道路における法定速度の引き下げを受け、安全確保に向けた交通環境整備のための取り組みについて、市の見解を伺う。

答弁：9月から生活道路の法定速度が時速30kmに引き下げられ、重大事故の防止に効果的であると受け止めている。

　交通安全の啓発は、広報おおがき、SNS等で広く情報発信するとともに、出前講座や交通安全教室のほか、警察など関係機関と連携した街頭啓発、交通指導員の巡回を実施し、積極的な周知・指導に努めている。

　道路環境の整備として、ハンプやカラー舗装などの物理的・視覚的対策を緊急性の高い場所から進めており、住宅地の抜け道対策や、最高速度規制と物理的対策を組み合わせたゾーン30プラスの導入に向け、モデル地区を選定し、地域や関係機関との調整を進めている。また、車両走行データの分析により危険箇所を特定し、安全対策に活用している。

　引き続き、地域と一丸となり、安全で安心な生活道路の実現に向け全力で取り組んでいく。

※ウェルビーイング・・・身体的、心理的、社会的にも幸福を感じる状態

意見書

第３回定例会で可決された意見書は次のとおりです。
意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣等に送付し、実現を要望しました。

ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

我が国では、出生時の体重が２，500g未満の低出生体重児が、約10人に１人の割合で生まれている。特に、医療的なケアや継続的な支援が必要とされる１，500g未満の極低出生体重児にとっては、感染症や合併症等のリスクを減らすため、出産後すぐに母乳を与えることが有効とされている。

しかし、早産や帝王切開など母体の健康状態等により、母親から十分な母乳が得られない場合があり、寄付された母乳である「ドナーミルク」を提供する「母乳バンク」の取組は極めて重要である。

現在、我が国では、一般社団法人日本母乳バンク協会と一般財団法人日本財団母乳バンクの２法人が国内３ヵ所の母乳バンク拠点の運営を担い、ドナーミルクを医療機関に提供しているが、法的な仕組みとしては位置付けられていない。また、ドナーミルクの使用に伴う費用等が実質的に医療機関の負担となっていることに加え、ドナー登録における事務処理等が登録施設の拡充を阻んでいると考えられる。

よって国においては、低出生体重児等の命を守り、その健やかな成長を支える観点から、次の事項について所要の措置を講じられるよう強く要望する。

１.医療機関がドナーミルクを必要とする乳児に十分提供できるよう、ドナーミルクの法的位置付けを一日も早く明確化すること。

２.ドナーミルクを安定的に供給するため、母乳バンクの運営、ドナーミルクの殺菌処理及びドナーの検査等に対する支援を行うこと。

３.ドナー登録者数を増やすため、産婦健康診査時や産後ケア等での周知機会の拡大を進めること。

４.ドナーミルクの重要性及び正しい知識について、医療現場及び国民に対し広く普及啓発を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和８年９月28日

大垣市議会

◆市議会だよりのご感想をお寄せください。

市議会だよりをより良い紙面とするため、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。

①郵　　送：〒503-8601大垣市丸の内２丁目29番地
　　大垣市議会事務局あて
②電子申請：右記のＱＲコードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームからご入力ください。

視察報告

常任委員会及び議会運営委員会においてその所管事務における他自治体の施策や実情について調査研究等を行いました。

総務環境委員会　10月19日～21日

滋賀県草津市
　草津市の防災施策について
京都府亀岡市
　かめおかプラスチックごみゼロ宣言プロジェクトについて
大阪府大東市
　公民連携の取り組みについて
滋賀県東近江市
　東近江市版SIB事業について


京都府亀岡市

教育福祉委員会　10月5日～7日

神奈川県大和市
　大和市文化創造拠点シリウスについて
　認知症支援の取組について
東京都稲城市
　介護支援ボランティア制度について
東京都府中市
　府中市の不登校施策について（学びの多様化学校「かがやき」について）
東京都立川市
　小中学校水泳授業における民間等屋内プールの活用について


神奈川県大和市

建設産業委員会　10月21日～23日

福岡県宗像市
　道の駅むなかたについて
大分県宇佐市
　ドローン物流地域実装体制構築事業について
福岡県那珂川市
　五ケ山クロスについて


福岡県那珂川市

議会運営委員会　10月14日～16日

大阪府泉大津市
　議会運営及び議会改革の取り組みについて
奈良県橿原市
　議会運営及び議会改革の取り組みについて
京都府宇治市
　議会運営及び議会改革の取り組みについて


京都府宇治市

令和8年第3回定例会　議案審議結果一覧

全会一致で可決・同意・認定された議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議第61号	令和８年度大垣市一般会計補正予算（第３号）	議第66号	財産の取得について
議第62号	令和８年度大垣市国民健康保険事業会計補正予算（第１号）	議第67号	令和７年度大垣市公営企業会計未処分利益剰余金の処分について
議第63号	令和８年度大垣市介護保険事業会計補正予算（第１号）	議第68号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第64号	大垣市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	認第２号	令和７年度大垣市公営企業会計決算の認定について
議第65号	大垣市景観条例の一部改正について	市議第３号	ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	議決結果	議会内統一会派														議会内統一会派				
			大垣市議会自由民主党緑風会											市議会公明党		自民クラブ	民主クラブ	日本共産党		市民ネットワーク	無所属の会	大垣の風
			議長 近沢正	空英明	種田昌克	林新太郎	石川まさと	日比野芳幸	田中孝典	長谷川つよし	関谷和彦	不破光司	安藤よしひろ	梅崎げんいち	宮脇ちえ	川上孝浩	岩井哲二	粥川加奈子	はんざわ多美	中田としや	本田ゆみこ	小田環	小原一喜
認第１号	令和７年度大垣市一般会計及び特別会計決算の認定について	可決	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
請願第１号	「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書採択についての請願書	不採択	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	ー	○	○	×	×
請願第２号	要配慮個人情報の本人同意なき第三者提供の見直しを求める意見書提出についての請願	不採択	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×

○＝賛成、×＝反対、ー＝退席　　議長は採決に加わらないため、斜線としています。

◆一般質問の録画放映（ケーブルテレビ）

大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会（３月、６月、９月、12月）の一般質問を大垣ケーブルテレビ(11ch)による録画で放映しています。次回の放映は、12月中旬を予定しています。放映日については、市議会ＨＰでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

◆本会議の傍聴のご案内

次回定例会は12月上旬に開会予定です。本会議の傍聴を希望される方は、市庁舎８階傍聴席入り口にて受付簿に必要事項の記入をお願いします。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

◆会派構成の変更について

次のとおり、会派の構成に変更がありましたので、お知らせします。

◆会派の結成（令和８年９月２日付）
「民主クラブ」から小原一喜議員が退会し、「大垣の風」を結成しました。

◆会派の名称変更（令和８年９月11日付）
「維新の会」から「無所属の会」へ名称が変更されました。

新しい会派構成及び所属議員の一覧は、市議会ＨＰでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

－ 法務省　人権啓発キャッチコピー －
「誰か」のこと　じゃない。　（東京2020公認　人権啓発キャッチコピーコンテスト最優秀作品）